

採用試験

申込期限は8月18日(火)

【募集職種・採用予定人数】

一般事務A	4人程度
一般事務B	2人程度
土木	3人程度
保育士	2人程度

【受験資格】

一般事務A	短期大学(高等専門学校を含む)か大学の卒業生(翌年3月までに卒業見込みの方を含む)で、昭和54年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた方
一般事務B	中学校か高校(各種専門学校を含む)の卒業生(翌年3月までに卒業見込みの方を含む)で、昭和58年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方 ※一般事務Aの受験資格者を除く
土木	昭和54年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方
保育士	昭和54年4月2日以降に生まれた方で保育士の資格を有する(取得見込みを含む)方

【試験日時・会場】

- ▶ 1次試験 = 9月20日(日)10時～・久慈中学校
- ▶ 2次試験 = 1次試験合格者に通知

【試験方法】

- ▶ 1次試験 = 教養試験、事務適性検査、作文試験 ※土木・保育士は専門試験もあり
- ▶ 2次試験 = 人物試験、身体検査

【応募方法】

申込用紙は総務課で交付。郵便で請求する場合は封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して120円切手をはった返信用封筒(A4判)を同封してください。

【申し込み】

総務課(TEL52-2112)へ8月18日(火)まで。郵送の場合は同日の消印有効です。

久慈地区	久慈中学校前堤防	夏井	大芦バス停脇
	小倉機械店様横堤防		稲荷前橋左岸
	中の橋右岸		旧夏井橋右岸
	久慈橋左岸	宇部	旧樋ノ口橋右岸
小久慈・長内	湊橋左岸		桜の木バス停脇
	通学橋左岸		宇部保育園向
	野中頭首工左岸		北ノ越バス停前
	新街橋左岸		小倉屯所前
	市役所裏旧ごみ集積場脇		大道商店様車庫前
	長内駐在所横ごみ集積場		三崎林業センター前
	玉の脇・久畑良次様宅向ごみ集積場	待浜	小袖漁村センター前
	二子停留所横		漁協小袖支所前
	大尻公葬地前		堀切ふれあいセンター前
	三日町橋右岸		待浜支所脇
大川目	大川目橋右岸	山根	北野公民館前
	滝バス停脇ごみ集積場		麦生漁港小屋前
			掘割バス停向広場

※ 橋の右岸・左岸は、川の上流から下流に向かって見た方向です

お盆の供物は8月16日(日)7時～8時30分までに左の指定収集場所に出してください。

8/16

お盆の供物収集します

「こも」の中には果物や野菜、燃えないものは入れないでください。収集場所での線香・ろうそくの使用は最小限にするようご協力をお願いします。 ※山形地区では供物収集を行いません。通常の「こみの日」に処分するようお願いします

お盆の供物は指定場所へ 生活環境課 (☎54-8003)

道路

みんなで考える



懇談会で必要性を再確認

みちづくりと未来の魅力あるまちづくりを考える「久慈地方の道路を考える懇談会」は7月1日、市防災センターで開催。主催した北リアスみちづくり女性の会(大槻静子会長)の会員をはじめ道路関係者や高校生など約100人が参加しました。

はじめに、懇談会の講師を務めた国土交通省東北地方整備局の三浦真紀(まさのり)道路部長が「道路を取り巻く最近の話題」と題して講演。道路特定財源が一般財源化されたことにより道路関係の予算が前年に比べて約12%削減されたことや、交通量の多さから都会の道路整備が優先されることなどを説明しました。

道路整備の要望活動を展開する東北ロードネットの西本由美子代表は自身の活動内容を発表。国土交通省や国会議員を訪問しての要望活動や、高校生と一体となった植栽や清掃活動などの取り組みを紹介しました。

久慈高、久慈東高、久慈工業の生徒会11人と商工関係者などを交えたフリートークも実施。山内隆文市長が進行役を務め「なぜ地方こそ道路整備が必要か」「未来のためにできること」について、さまざま意見を交わしました。

フリートークの主役は将来のまちを担う高校生。山内市長や講師からの問い掛けに高校生は「道路整備は大人だけ

で考えるものじゃない」「みんなで活動し、道路の必要性を訴えたい」など積極的な意見を述べ、道路への高い関心を示していました。

大槻会長は「高校生と一緒に考えることの大切さを知った。道路とまちの未来のためみんなで考え行動していきなさい」と抱負を。多くの参加者が道路の必要性と行動の大切さを再確認しました。



「道路のこと、わたしたちも一緒に考えます」積極的な意見を述べた高校生

講師からのメッセージ message



道路は必要 みんなで声に

国土交通省 東北地方整備局 三浦真紀 道路部長

今、地方の道路はとても作りにくくなっています。交通量が重視され、都会の道路整備が優先されるのが現状です。

しかし実際はそうではありません。地方にこそ必要な道路もあります。地域の皆さんで力を合わせ道路の必要性を訴えてください。声に出せば必ず届きます。



未来に住みたくなるまちを

東北ロードネット 西本由美子 代表

道路が整備されれば経済が活性化。そうすれば雇用や福祉、子育てなどの未来も開きます。

わたしは「将来、子どもたちが住みたくなるまち」を考え、子どもたちと一緒に行動しています。わたしたちができるのは現状を伝えること。まちの未来のため、みんなで声を出しましょう。

昭和52年から昨年までの31年間、旧山形村と本市の交通指導員を務めた長内政一さん(山形町)に県から感謝状が贈られました。6月24日、山形総合支所で伝達式。久慈地方振興局の東大野潤一局長が感謝状を贈呈し、長内さんの長年の功績をたたえました。

感謝状を受けた長内さんは「使命感を持って取り組んだ31年。情熱を持った良い仲間にも恵まれ、やり抜くことができた。交通事故は一瞬の気のゆるみが命とり。それを防ぐには地域や家族で声を掛け合い注意することが大切です。交通指導員も地域の人も、みんなで協力し、交通安全を守ってほしい」と活動振り返りながら、交通安全に願いを込めていました。



賞状を手に晴れやかな表情の長内さん

表彰

功績たえ、元交通指導員の長内政一さんに県から感謝状